

## 募 金 趣 意 書

謹啓 同窓生の皆様方にはますますご健勝にてご活躍のことと存じます。

日ごろ母校岩手中学校、岩手高等学校の発展のため、そして本同窓会の運営及び事業推進に当たり、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

郷土岩手から進取の気概に富んだ有為な人材の育成を目的に、当時政財界において功成り名を遂げた三田義正翁が大正15(1926)年2月11日私立岩手中学校を創立されました。その建学の理想に沿うが如く、本校はこれまで県内はもとより全国更には海外にまで各界、各分野で活躍している1万5千人余の卒業生を輩出して参りました。

本校は、良き伝統を引き継ぎ、私学ならではの特色を生かした学校教育を推進し、着実に発展を続けて参りました。そして令和8(2026)年には創立100周年を迎えることとなり、伝統と校風は永久の時を刻み続けることとなります。

このような中で、我が石桜同窓会は、昭和8(1933)年2月、卒業生20数名の発起人が母校に参集して発会式を挙行し会則も制定しました。同年8月会員である1～3回卒業生約300名のうち30余名の参加を得て第1回同窓会総会を開催、初代会長に工藤久吉(旧制1回生)氏を選出し本格的に動き出しました。同窓会の基本は、会員相互の親睦を図り、厚誼を厚くし、母校の繁栄に寄与することを目的とし、爾来、総会及び懇親会の開催、同窓会報及び会員名簿の発行、母校行事への参加援助、顕彰事業等の実施やホームページ開設による情報発信などを行って参りました。

そして、歴代会長の献身的な創意と強いリーダーシップにより、同窓会としての活動の実績を積み上げて参りました。殊にも、母校創立50周年及び70周年記念事業の実施に際しては、母校との緊密なる連携のもとに取り組み、記念事業に対する同窓生の皆様方のご協力、ご支援により大きな成果を上げたところであります。

このように、同窓会は、設置の趣旨に沿い、組織強化や活性化を図りながら種々事業を展開して参りましたが、時の進むのは早いもので令和5(2023)年には設立90周年を迎える運びとなります。

同窓会といたしましては、この大きな節目に当たり、母校岩手中学校、岩手高等学校において石桜精神のもと文武両道の極みを目指し勉学に励んでいる後輩の部活動の支援としてマイクロバスの寄贈を計画いたしました。

現在、母校ではマイクロバスを2台所有されておりますが、これは本同窓会が母校創立70周年記念事業として、皆様方のご協力、ご支援をいただいて寄贈したものであります。しかしながら経年劣化により安全運行上の観点からも使用することが厳しいものとなっております。次代を担う在校生諸君の悔いのない教育活動のためにも必要と認められるところから是非支援をしたいものと考えており、この90周年記念事業の基幹と位置付けております。

また、併せて記念事業として記念式典の挙行、記念誌刊行を計画しております。

つきましては、同窓生の皆様方におかれましては、先輩として、石桜精神で頑張っている後輩のためにもご賛同を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

新型コロナウイルス禍という社会情勢の中で、国民の生活は新しい生活様式を求められている状況ではありますが、同窓会としての太い絆、団結力で本記念事業が成功裏に行われ、母校のより一層の発展に寄与するものとなりますようご理解とご協力をお願い申し上げます。

謹白

令和4年4月吉日

石桜同窓会設立90周年記念事業実行委員会

委員長 村井紀之(石桜同窓会会長)

副委員長 武藤正吾(石桜同窓会副会長)

副委員長 熊谷鉄郎(石桜同窓会副会長)

副委員長 明戸均(石桜同窓会常任理事)